

病いと妖術の語り

ーマラウイ共和国北部州における

呪術医の治療実践と妖術言説の関わりー

平成 24 年入学

派遣先国：マラウイ共和国

米田 亮太

キーワード：呪術医，妖術，病い，語り

対象とする問題の概要

調査地であるマラウイ共和国では近年、セキュラーヒューマニズム (SH) と名乗る「人権」団体と呪術医や村人達のあいだにおいて、妖術「ある・ない」論争が繰り広げられている。セキュラーヒューマニズムは妖術など「ない」という主張のもと、呪術医による妖術師の告発を「人権」侵害だとして非難している。一方、呪術医たちは、妖術は「ある」という主張のもと、妖術に唯一対処できる職能者としての呪術医の権限回復を求めている。マラウイ共和国には 1911 年に植民地政府によって制定された **Witchcraft Act** という妖術告発を禁止する法律が存在する。しかしながら、最近まで、特に村落において、妖術告発は呪術医らによって平然と行なわれていた。しかし近年になって、上記のような人権団体の影響もあってか、呪術医のあいだでも妖術師を明確に特定するような告発は自粛しようという動きが出始めている。

研究目的

上記のような背景のもと、本研究は、マラウイ共和国北部州において、呪術医の実践がどのように人々の妖術の語りと関係しているのかということ、呪術医の診断過程と人々の病いの語りに注目することによって明らかにすることを目的としている。ここで呪術医といっている人々は、マラウイ共和国北部州に多くいると言われている精霊憑依型の呪術医 (Nchimi) のことで、彼らは妖術師を特定し、その力を中和することに関してはマラウイの中で一番力があると言われている。また彼らは太鼓と歌に合わせて踊ることで人々を診断するということでもよく知られている。本研究は、Nchimi のそのような診断過程に着目し、そのような診断におけるやりとりの中で、人々がどのようにして自分たちの病い経験を構築し、そのなかでどのようにして妖術の語り生成されていくのかということを考察する。

フィールドワークから得られた知見について

調査地で行なったフィールドワークは大きく二つのパートに分けられる。第一に報告者はマラウイ共和国北部州伝統医協会代表のエドワード・カヤング氏と共に約二ヶ月間、北部州を構成している六つの行政地域のうちリコマ地域を除く五つの行政地域の呪術医 (Nchimi) を訪ね、彼らのライフヒストリーを収集し、彼らのところに滞在している人々に対して病いに関するインタビューを行なった。これらの

調査からは、Nchimi と呼ばれる呪術医の特徴や彼らの診断・治療実践についての理解を得ることができ、Nchimi のところにくる人々の語りからは、彼らの多くが慢性的で治らない病いを抱え、Nchimi のところにやってくるということがわかった。この調査から得られた重要な知見は、そのように治らない病いを抱えて Nchimi のところにやってくる人々の病いは、そのほとんどが Nchimi の診断によって妖術の病いになってしまうということであった。

第二に、報告者は約一ヶ月間マラウィ共和国北部州カロンガ地域のブンガニロ村において、L 氏という Nchimi のもとに滞在し、彼の診断・治療実践の詳細な観察・聞き取り調査を行なった。また、その期間、彼のところに滞在している人々の病いに関する語りも収集し、ロアニ氏のところで滞在している彼らの日々の生活に関する観察調査を行なった。この調査において注目したのは、ロアニ氏や彼の弟子による診断過程の詳細なやりとりと、その診断を受けて人々が自分たちの病い経験をどのように構築していくのかということであった。この調査から得られた重要な知見は、人々が Nchimi による診断から、自分たちの病いの物語を生成し、そのなかで妖術の語りというものが生成されていくということであった。しかしながら、興味深いのは、そのようにして形成される人々の病いの語りは決して静的なものではなく、常に変化に対して開かれているものであるということであった。

今後の展開・反省点

上記で述べたようなフィールドワークの成果は、今年度執筆予定の博士予備論文にまとめられる予定である。博士予備論文では、いままで文化人類学における妖術研究で論じられてきた問題と医療人類学のなかで論じられてきた病いの問題の双方に貢献できるように、「物語」という分析概念をキーワードにして、マラウィ共和国北部州における Nchimi の診断過程と妖術の語りの関係性を、人々の病いの語りに着目することで明らかにしたいと考えている。またいままでの研究・調査の反省点としては、フィールドにおいて事務的な作業に時間をとられるあまり調査期間を十分に確保できなかったことや、先行研究レビューの甘さが指摘できる。それらは今後の課題としたい。



写真1 : L 氏のところで提供されている薬 (Mankwhala)



写真2 : 診断中の L 氏



写真3 : L氏によって治療される患者

